



報道写真展

定点観測者としての通信社

関東大震災 100年

— 写真に刻まれた記憶 —

入場無料

Photo Exhibition

A news agency as eyewitness

100 Years Since Great Kanto Earthquake — Memories Captured in Photos —

会期 2023年8月18日[金] — 9月4日[月]

9:00~21:00 [初日10:00から/最終日18:00まで]

会期中無休

会場 汐留シオサイト 地下歩道 特設スペース

主催 公益財団法人新聞通信調査会
協力 共同通信社

 新聞通信調査会
JAPAN PRESS RESEARCH INSTITUTE

1923(大正12)年9月1日午前11時58分— 突如関東の地は大地震に襲われた

100年前に発生した関東大震災—震源地は相模湾北西部、推定マグニチュード7.9

死者・行方不明者は10万5000人を超え、都市部では建物の倒壊や火災が発生
沿岸部には津波も押し寄せ、山間部は土石流や地滑りが多発した

東京や横浜などに未曾有の被害をもたらした震災を99枚の報道写真で振り返る
保存されていた原版(オリジナルネガ)を用い、当時の記憶を高精細画質で伝える

「100年前の新橋」「失われた日常」「暮らしの回復」「東京今昔～100年を経て」の4部構成
復旧に向けた動き、懸命に生きる人々の姿も活写



一面焼け野原となった京橋付近と銀座方面(右側)



屋根が焼け落ち外壁だけ残った新橋駅(現在の汐留口)



警視庁の施設に保護された迷子たち



大雨で冠水した東京・深川の道路を歩く女性

[会場] 汐留シオサイト 地下歩道 特設スペース

東京都港区東新橋1丁目付近 <https://www.sio-site.or.jp/>

[交通] JR線：新橋駅徒歩2分

地下鉄銀座線 新橋駅徒歩2分

地下鉄浅草線 新橋駅徒歩1分

地下鉄大江戸線 汐留駅 徒歩1分

ゆりかもめ 汐留駅 徒歩1分

